

企画理由

社会背景：働く世代のWケア（育児と介護の問題）、待機児童と女性の社会進出に関する問題、
人材不足、出生数減少、廃校の空き校舎・空き教室の問題

目的：母親が働きやすく、悩みを打ち明けやすい地域づくり
年配の方が気軽に子どもとふれあう時間を持ち、活力向上・健康寿命の延長を図る

年配の方の定義：元気な方（最終は特養レベルも巻き込みたい）

そのはじめの一歩として、本プロジェクトでは子どもたちと年配者がふれあう場所を提供し、
段階的に一緒に過ごす時間を長くする。

⑦プロジェクト の協力者	⑤プロジェクトの 主要な活動内容	①プロジェクトの具体的内容 （商品・サービス・イベントの内容）	③どのような 関係を作るか？	②対象とする人 ・想定利用者
行政 ボランティア ファミサポ	月1回土or日から開始し、段階的に拡大していく。 1.イベント（昔遊び） 2.ごはんつくる→イベント（昔遊び）→夜ごはん→解散	まちの中心地に子どもたちがと年配者が一緒に集える場所を提供 （一緒に過ごす時間をできるだけ長くする）	誰もが気軽に話し合える関係 （連合自治会が協力して廃校リノベすると補助金など？）	年配者 （元気な方） 子どもたち （未就学児） お母さん
	⑥プロジェクトを形にするために必要になってくるもの、こと		④プロジェクトの届け方	
	場所の提供（スペース）、遊び道具、料理道具、料理		生涯大学、高齢者大学へ告知（地域なら回覧板）	
⑧このプロジェクトのためにかかる費用		⑨このプロジェクトがもたらす地域経済へのインパクト・価値		
貸室代、保険料（協賛を募る）		・親世代がリフレッシュし、仕事効率UP、 ・年配者の活力UP、子どもたちの世話の新しいカタチを実現		

プロジェクトを実践を通して実現したい理想の姿

- ・地域ごとに年配者と子どもたちが触れ合う共有の場所を提供する
- ・できれば、廃校や空き教室を使用
- ・将来的には特養も巻き込みたい

